

基調講演Ⅱにおけるライブアンケートの質問項目について、講師の斉藤先生からのご回答内容となります。

- 1) 認定・専門の更新に関わる費用が高すぎます。資格を複数持つと維持費が大変です。どうにかなりませんか？

回答 複数維持する会員からの貴重なご意見として参考にさせていただきます。

- 2) 認定や専門理学療法士にインセンティブがつく可能性は今後ありますでしょうか？また、アメリカやヨーロッパなど、海外でも認定や専門といった制度はあるのでしょうか？そちらでは、診療報酬などにインセンティブがついていますでしょうか？

※本質問には、アーカイブ配信内でも一部ご回答いただいております。
インセンティブとは報酬や特典を指すと考えます。一義的には職場で得られるものかと考えます。給与の増額、昇進の機会、業務範囲の拡大、教育支援、専門性の向上(業界内での評価が上がる)、の事例もあります。協会として各省庁や病院団体等に働きかけておりますが、各職場単位でも検討していただければ幸いです。海外の事例については、情報を持ち合わせておりません。

- 3) 幅広い疾患に対応できるよう複数分野の認定理学療法士を取得しましたが、更新にはそれぞれの分野で単位を取らねばならず、他の資格の更新も必要な中で、全ての分野の認定更新は難しいと感じます。更新のための単位取得をPT関連学会に限らずにもっと幅広く、またEラーニングなど対面に限らない機会をつくっていただきたいです。

回答 幅広い疾患や障害に対応できる基盤は登録理学療法士の更新をお勧めします。質問者のリクエストは、登録理学療法士の更新制度の中で運用しています。また、オンデマンド受講など対面に限定しない研修方法も今後増やしていきます。

- 4) 心大血管の施設基準で、心臓リハビリテーション指導士を配置することが認められているのに、循環器の認定や内部障害の専門では認められず、施設基準にならないのはなぜでしょう？

回答 仰る通りです。本会の理事会においても、令和8年度診療報酬改定にあたっては、認定・専門理学療法士を国が認める制度とすることを目指すことで合意されました。ご意見を参考にさせていただき、一層の社会的評価を得よう引き続き取り組んでまいります。

- 5) 少しテーマと異なるかもしれませんが、奈良先生、半田先生と引き継がれた会長職と思いますがこれまでの歴史や経緯とこれからを社会情勢の変化と併せて教えて下さい。

回答 昭和・平成で成しえたこと、課題として残っていることがあります。加えて、過去に経験していない社会情勢での対応が求められています。

- 6) 厚労省で直近で行われた、第7回新たな地域医療構想に関する検討会、急性期の早期リハビリテーションの項目で、週末も含む5から7日の日2回の介入や、看護師による20分のベッド外活動がエビデンスとして提示されていました。これらを踏まえ、2年後の診療報酬改訂で急性期病院のリハ職として何を想定して準備をしていけばよいですか？

回答 入院患者に対して入院初日からの開始、365日均一な提供体制、1日当たり必要十分な理学療法の提供体制の構築が考えられます。

- 7) 質問失礼します。生涯学習とは少しずれますが、最近実習生を持つ機会があり、色々と興味を持ってもらおうと試行錯誤しましたが全く内容が入らず、話してもそっけない対応をされてしまいました。そもそも理学療法、患者様等に興味がないような様子であり、どのようにして導いていけば良いかととても悩みました。何か良い方法はありますでしょうか？

回答 理学療法の醍醐味、面白さをライブでお見せすることに終始されてはどうでしょうか。学生さんに求めるのではなく、モデルとしての機能に徹してはいかがでしょうか？

経験を積むほど、キャリアを重ねるほど、20分1単位でのリハビリの枠組みは可能性を狭くしているように感じます。8) 複数疾患を抱えている患者が、現在はスタンダードなのに、疾患別リハビリの枠組みが、ジェネラリストキャリア形成の妨げになっていませんか。

回答 仰る通りだと思います。一方で、疾患別は制度であり、制度オリエンテッドではなく、ニーズオリエンテッドの診療を行うことで可能性は担保されると思います。

9) 地域包括ケアシステムは、地域を1つの病院としてみるとわかりやすいと伺ったことがあります。ベッドサイドの理学療法は地域包括ケアシステムの中では訪問理学療法になると。そうするとジェネラリストに求められる能力として、今後、訪問での能力が非常に重視されるように感じました。訪問での能力を生涯学習制度の中で磨けますでしょうか？

回答 1つの意見として参考にさせていただきます。訪問に限らず、能力開発にはOJTが必要と言われていています。生涯学習、特に登録理学療法士制度の更新のなかで、OJTによる研修を職場、地域で構築して、士会が承認されていくことを期待したいと思います。
